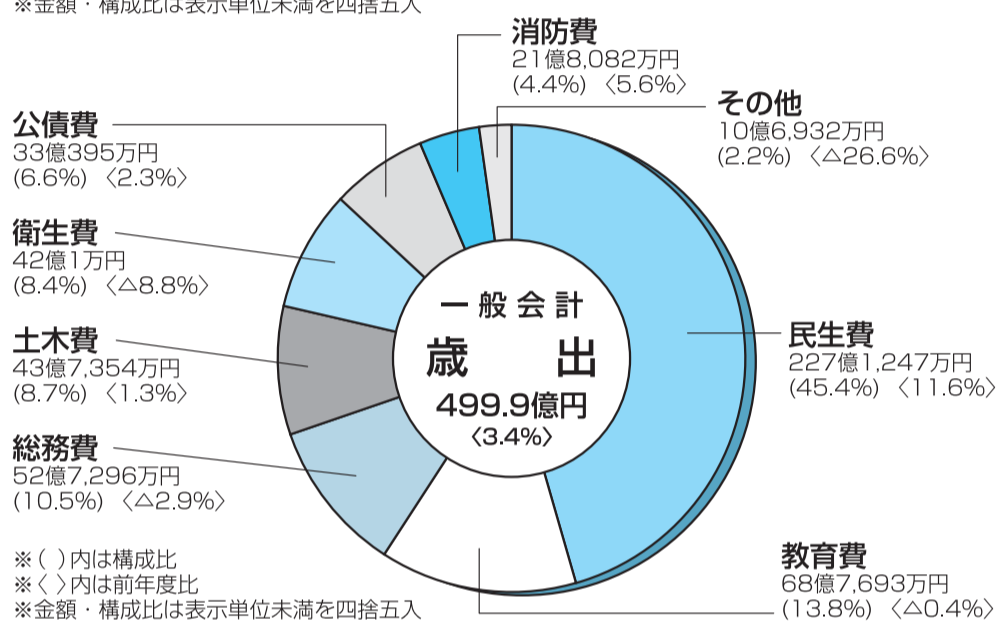
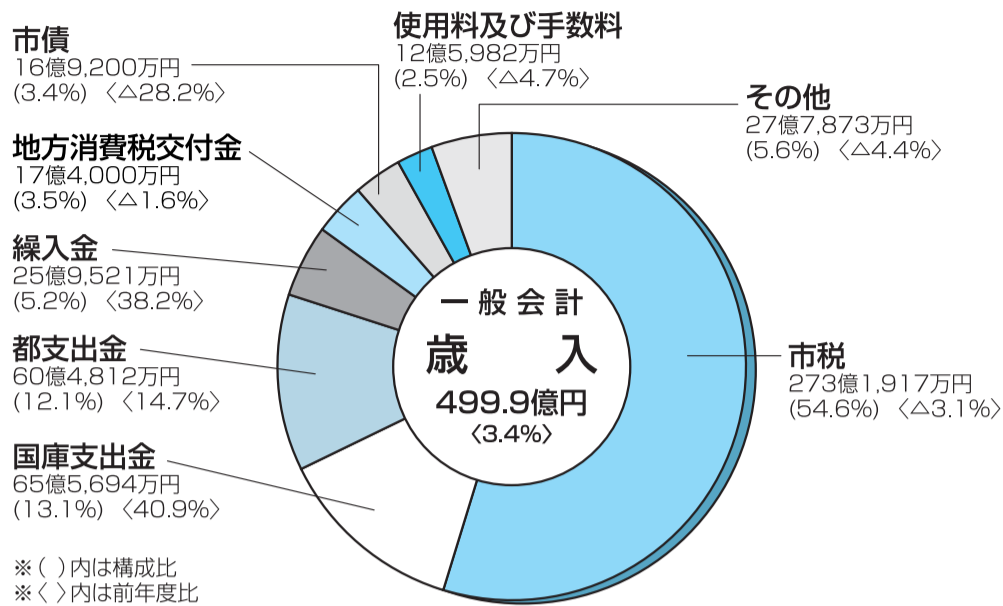


# 平成22年度一般会計予算構成図

## 一般会計予算総額 499億9,000万円 (前年度比3.4%増)



# 平成22年度予算の審議から

### 一般会計予算 原案可決

平成22年度一般会計予算特別委員会は、3月18日、23日、24日の3日間開催され、西野正人委員長、中野昭人副委員長のもと、慎重な審査が行われました。

委員会では、延べ49人の委員から質疑や行政への提言、指摘が活発に行われました。なお、平成22年度日野市一般会計予算の原案は、歳入歳出のおの499億9千万円であり、前年度に比較して16億3千万円、3・4%の増となっています。

財政対策債などの起債の総額はいくらか、指定収集袋売上手数料を特定財源化できないか、市営住宅駐車場の未使用部分を居住者以外に貸し出せないか、課税所得200万円以下の世帯が増えている実態を市はどう考えているのか、などがありました。

次に、歳入全般では、クレジットカード決済の増となつていますが、市民の森ふれあいホール」の建設の中止、議員の期末手当における役職加算の廃止・節減を求める等の編成替えを求める動議が出されました。動議に対する質疑、意見の後、採決を行い、賛成多数で否決され、原案が賛成多数で可決すべきものと決まりました。

3月31日の本会議において、委員長報告、質疑が行われました。各党派の代表による予算案に対する意見表明の後、採決が行われ、平成22年度一般会計予算は、賛成多数で原案のとおり可決されました。

### 特別会計予算 原案可決

平成22年度特別会計予算特別委員会は、3月26日に開催され、奥野倫子委員長、谷和彦副委員長のもと、慎重な審査が行われました。

委員会では特別会計ごとに審査が行われ、質疑や行政への意見、提言、指摘が行われました。概要は、次のとおりです。

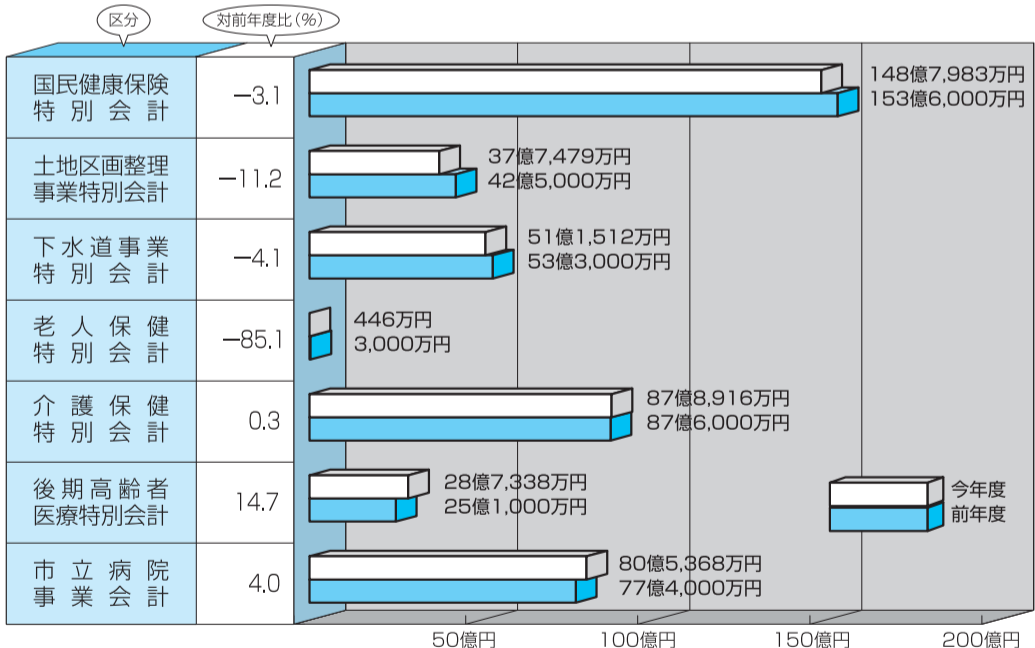
★国民健康保険特別会計  
予算総額 148億7千983万円  
町田市で提起された事故の症状固定に係る訴訟について、市はどのような把握しているのか、保険料と医療機関の窓口で一部負担金の減免制度について説明とPR状況について問う、特定健診の受診率向上や特定保健指導について、どのように取り組んでいるのか、などの質疑があり、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

★土地区画整理事業特別会計  
予算総額 37億7千479万円  
新しい部署を設けて保留地の販売を行っているが、処分できないことによる事業への影響はないかと、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

★老人保健特別会計  
予算総額 446万円  
特段の質疑・意見はなく、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

★下水道事業特別会計  
予算総額 51億1千512万円  
特段の質疑・意見はなく、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

## 特別会計予算総額 434億9,042万円 (前年度比1.1%減)



- ### 各委員会の委員を選任
- 今定例会では、常任委員会、議会運営委員会の各委員が、次のとおり選任されました。
- ◎は委員長、○は副委員長
- | 委員会     | 委員                                 |
|---------|------------------------------------|
| 企画総務委員会 | 西野正人、佐藤洋二、大井高徳、今井昭徳、大原利恵、池田初美、田中智幸 |
| 市民文教委員会 | 池田初美、田中智幸、大井高徳、今井昭徳、大原利恵、池田初美、田中智幸 |
| 健康福祉委員会 | 奥野倫子、窪田知子、古賀敏子、中野昭人、秋山薫、環境まちづくり委員会 |
| 議会運営委員会 | 菅原直志、江口登志、清水匡人、原直志、江口登志、菅原直志       |

一高くなっている理由は何か、新政権になり国の財源措置はどうなっているのか、などの質疑があり、75歳以上の高齢者の負担となっている制度なので、先送りせず廃止すべきであるという反対意見がありました。採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決まりました。